

諏訪の景気動向

平成25年 11月

(平成25年 10月末 D・I調査)

平成25年 11月26日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 25 年 10 月末調査）

「平成 25 年 10 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 170 社のご協力を得て行った平成 25 年 10 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 3.0 となり、前回調査時(平成 25 年 7 月末、以下同)の 8.7 から、5.7 ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは $\Delta 0.7$ と、前回の 4.5 から 5.2 ポイント悪化した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも 14.3 と前回の 23.1 から、8.8 ポイント悪化した。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 9.3(前回 11.4)、非製造業が $\Delta 11.9$ (前回 25.6)で、回答全社では 4.1 となった。総体的に業況は、7 月末時点より悪化したものの、「前年同期」よりは改善傾向で、先行きは慎重な見方となっている。雇用情勢は持ち直しの兆しが見られるようになった。

製造業の業況判断DIは、「3ヶ月前」比で $\Delta 0.7$ と、前回調査時の 4.5 から悪化した。が、「前年同期」比のDIは $\Delta 7.1$ で、前回の $\Delta 19.7$ よりマイナス幅が縮小している。「3ヶ月後」の予想は 9.3 で前回の 11.4 から悪化した。が、横這いとする企業が多い。また、受注状況DIも「3ヶ月前」比で 6.2 となり、前回の 8.3 より悪化したものの、「前年同期」比では前回の $\Delta 17.4$ から $\Delta 3.1$ とマイナス幅が縮小した。「3ヶ月後」の受注予想DIは 8.6 で前回の 14.4 より悪化した。が、プラスを維持している。収益性DIでも「3ヶ月前」比は前回の $\Delta 10.6$ から $\Delta 14.1$ へと悪化幅が広がった。が、「前年同期」比では $\Delta 30.3$ から $\Delta 23.4$ へと改善し、「3ヶ月後」の予想は $\Delta 1.6$ で前回の $\Delta 3.8$ より改善している。

昨年 9 月に尖閣諸島問題が発生し、日中関係悪化や世界経済の減速などで受注が減少した前年同期に比べると、業況が好転している企業が多い。ヒアリング調査では引き続き、自動車関連部品など輸送用機械を中心に受注が増加している企業が増えている。ただ、円安による原材料価格の高騰が収益を圧迫する状況も強まっている。「景気が良いのは大企業だけで、今回も下請けに回ってこないのでは」という声もあった。

商業の大型店を中心とした業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて 27.3 で、前回調査時の 0.0 から改善した。「横這い」とする企業が多いが、「好転」企業が前回の 16.7%から増加する一方で、「悪化」企業は前回より減少した。「前年同期」比DIは 27.3 で、前回の 25.0 よりやや改善した。「3ヶ月後」の予想DIは、「横這い」の企業が 81.8%を占め、「好転」と「悪化」を予想する企業がともに 9.1%で同DIは 0.0 となった。円安の影響は、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業がなく、同DIは $\Delta 45.5$ で前回の $\Delta 33.3$ より悪化した。競争が激化する中で原材料高の価格転嫁が課題となっている。自動車販売は、諏訪地方の 10 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 1,023 件で、前月比で 27 件増加(2.7%)し、エコカー補助金があった前年同月比でも 54 件増加(5.6%)した。前年同月を上回るのは昨年 12 月以来 10 ヶ月ぶりとなった。

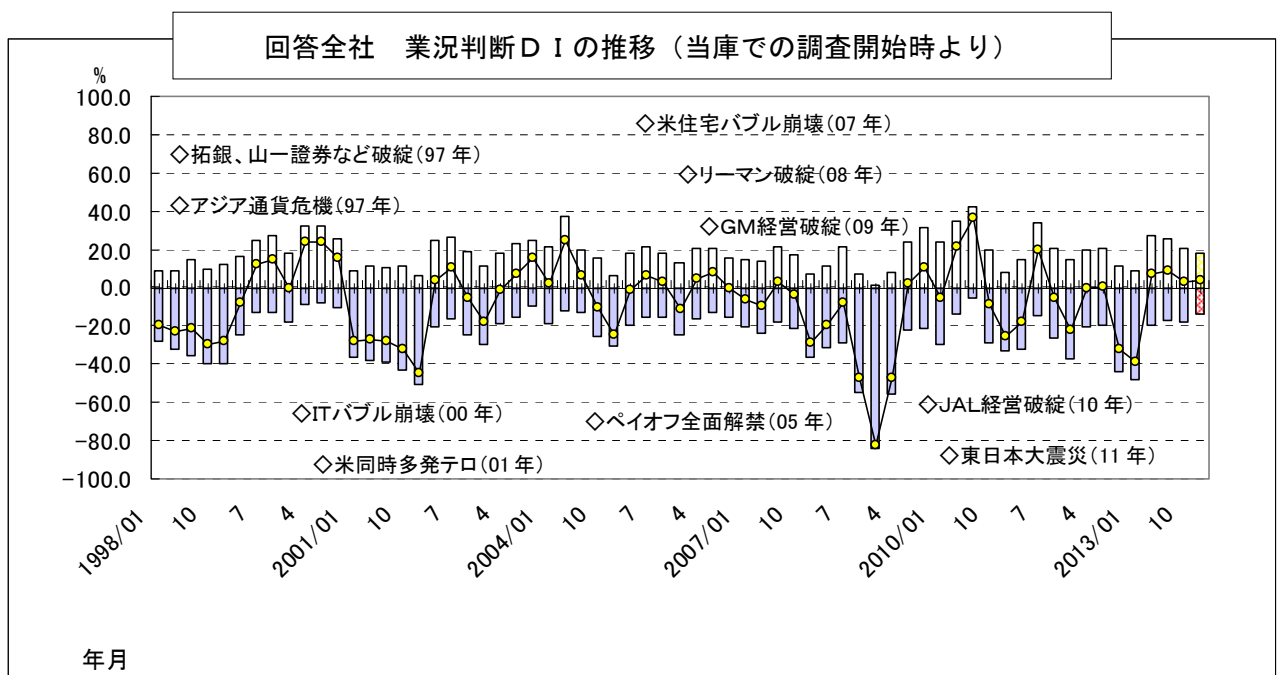
観光・サービス業の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて $\Delta 5.2$ で、前回調査時の 47.0 から大幅に悪化した。稼働率DIも 5.2 と、前回の 35.3 から悪化している。10 月は 1998 年以來の月最高気温となり、台風が連続するなどの天候が影響を及ぼした。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は前年同月比 60%~130%台と格差があり、高原の施設も台風接近でのキャンセルが目立った。「前年同期」比の業況判断DIでは 5.2 と前回の $\Delta 17.7$

から改善し、来客・宿泊数DIも 0.0 で前回より改善している。「3 ヶ月後」の業況予想DIは、冬季に向かう季節要因もあって△31.6で前回の47.0より悪化し、宿泊客数予想DIも△26.3、客単価予想DIは△15.8とマイナス予想となっている。

建設業の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは 33.3 で、前回調査時の 10.0 から改善した。「3 ヶ月後」の業況予想DIは 8.4 で前回の 20.0 より悪化したものの、依然好調を維持している。受注状況DIは、「3 ヶ月前」比、「前年同期」比とも前回の 20.0 から 41.7 とさらに改善した。

諏訪地方の平成 25 年 9 月の新設住宅着工戸数は 96 戸と、前年同月の 88 戸に比べ 8 戸(9.1%)増加した。平成 25 年 4 月～9 月の累計着工戸数は 695 戸で、前年同期累計比で 173 戸(33.1%)の増加だった。10 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は 12 件 252 百万円で、平成 25 年 4 月～10 月の累計は 103 件、3,885 百万円となり、前年同期累計比 58.8%増となった。市町村の発注工事は合計 112 件、668 百万円で、前年同月比 6.4%減だった。公共、民間とも受注量は多くの企業で増加しているが、人材確保に苦慮する企業も増えている。来春の反動減を懸念する声も出始めている。

雇用状況は、平成 25 年 9 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.12 ポイント上回る 0.93 倍となった。長野県 0.89 倍、全国 0.95 倍で、約 1 年ぶりに県平均を上回った。新規求人数(全数)は 1,482 人で前年同月比 117 人(8.6%)の増加、新規求職者数は 989 人で前年同月比 17 人(△1.7%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、運輸業で 107.7%、製造業で 40.2%増加し、その他のサービスで 19.4%減少した。また、1 件 10 人以上の人員整理は 1 件 38 人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 59 人と、前年同月より 6 人、前月より 16 人それぞれ減少した。依然、厳しい状況はあるものの、有効求人数が近年の最多数近くになり、ようやく持ち直しの動きが見られるようになってきた。



業況判断DIの推移「3ヶ月前と比較して」

回答全社(170社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が20.6%、「横這」企業が61.8%、「悪化」企業が17.6%で同DIは3.0と、前回調査時(7月末)の8.7から5.7ポイント悪化した。前回に比べて製造業は、「好転」企業が24.2%から18.8%へ減少し、「悪化」企業は19.7%から19.5%でほぼ横這だった。非製造業は「好転」企業が30.8%から26.2%へ減少し、「悪化」企業は7.7%から11.9%へ増加した。消費税率引き上げの特例措置期限の9月までに受注を伸ばした建設業をはじめ、「好転」企業が「悪化」企業を上回るが、その差は縮小し、一服感も見られる。

産業別業況表

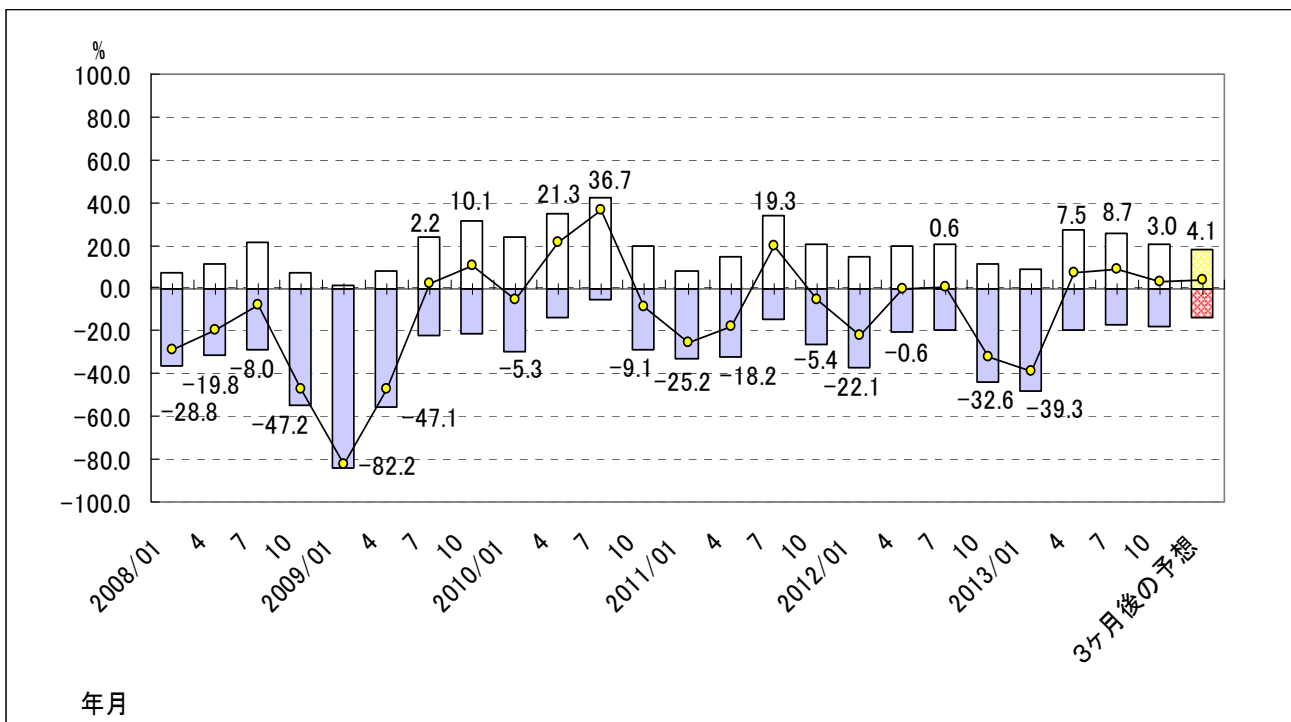
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全 体	170	20.6	61.8	17.6	3.0	170	27.1	45.3	27.6	-0.5	170	18.2	67.6	14.1	4.1
製造業	128	18.8	61.7	19.5	-0.7	128	24.2	44.5	31.3	-7.1	128	19.5	70.3	10.2	9.3
非製造業	42	26.2	61.9	11.9	14.3	42	35.7	47.6	16.7	19.0	42	14.3	59.5	26.2	-11.9
商業(大型店)	11	27.3	72.7	0.0	27.3	11	45.5	36.4	18.2	27.3	11	9.1	81.8	9.1	0.0
建設業	12	33.3	66.7	0.0	33.3	12	41.7	50.0	8.3	33.4	12	16.7	75.0	8.3	8.4
観光・サービス	19	21.1	52.6	26.3	-5.2	19	26.3	52.6	21.1	5.2	19	15.8	36.8	47.4	-31.6

自社業況判断DIの推移

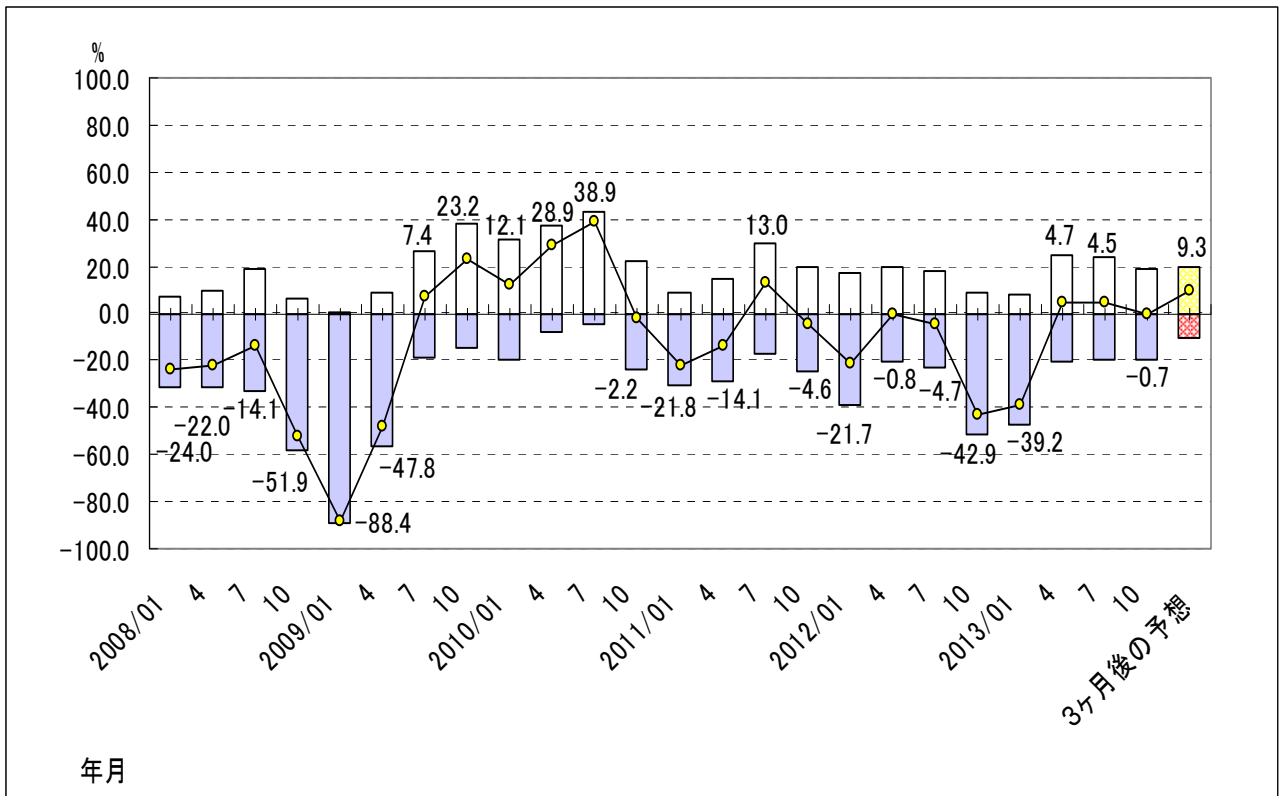
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



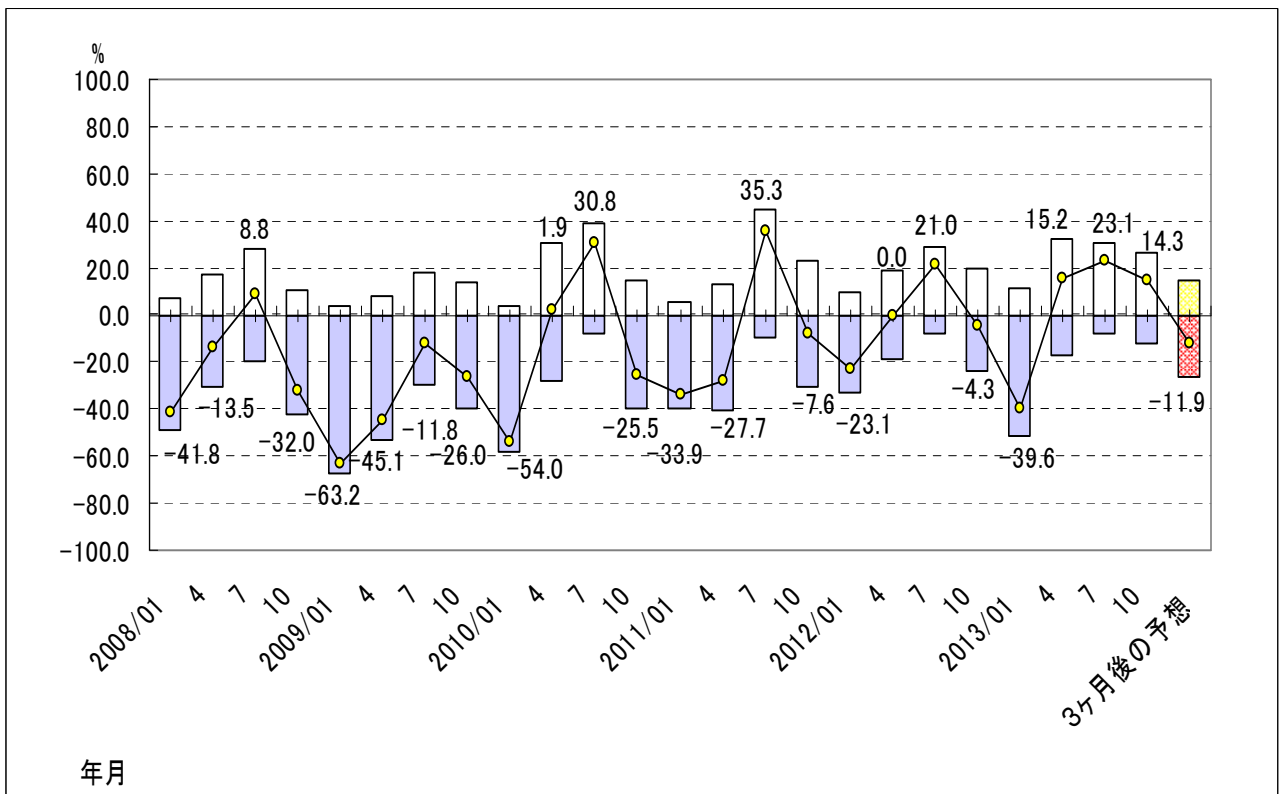
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で△0.7と、前回調査時の4.5から5.2ポイント悪化した。「前年同期」と比べたDIは△7.1で、前回の△19.7から12.6ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIは9.3で、前回の11.4から2.1ポイント悪化した。が、「横這」の企業が70.3%となっている。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて6.2と、前回の8.3から2.1ポイント悪化した。「前年同期」比は△3.1で前回の△17.4から14.3ポイント改善しているが、「3ヶ月後」の予想DIは8.6と、前回の14.4から5.8ポイント悪化している。

収益性DIは「3ヶ月前」比で△14.1と、前回の△10.6から悪化した。ただ、「前年同期」比では前回の△30.3から△23.4へ6.9ポイント改善し、「3ヶ月後」の収益性予想DIも△1.6で、前回の△3.8より2.2ポイント改善した。

円安の影響DIは「3ヶ月前」と比べて前回の△17.4から△8.6、「前年同期」比で△15.1から△13.3、「3ヶ月後」の予想が△13.6から△10.9と改善傾向だが、好影響より悪影響の企業が上回っている。

規模別の業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ、「1～29人企業」は△5.9(前回1.5)、「30～99人企業」が0.0(前回4.6)、「100人以上企業」は15.0(前回16.6)となり、全ての規模で前回より悪化している。「3ヶ月後」の予想DIは「1～29人企業」が△4.4で、プラスに転じた前回の1.4から再びマイナスとなった。「30～99人企業」も22.5(前回25.0)とやや悪化した。が、「100人以上企業」は30.0(前回16.6)と改善している。

業種別(主要5業種)の業況判断DIでは、「3ヶ月前」と比べて「一般機械」と「電気機械」がプラスに転じ、「金属製品」はほぼ横這いで、前回改善幅が大きかった「輸送用機械」と、「精密機械」は悪化した。「前年同期」比では、「精密機械」以外は改善傾向となっている。「3ヶ月後」の予想DIは、「一般機械」と「電気機械」が前回より改善予想をしている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
製造業		128	18.8	61.7	19.5	-0.7	128	24.2	44.5	31.3	-7.1	128	19.5	70.3	10.2	9.3
規模	1～29人	68	13.2	67.6	19.1	-5.9	68	17.6	50.0	32.4	-14.8	68	8.8	77.9	13.2	-4.4
	30～99人	40	25.0	50.0	25.0	0.0	40	22.5	42.5	35.0	-12.5	40	32.5	57.5	10.0	22.5
	100人～	20	25.0	65.0	10.0	15.0	20	50.0	30.0	20.0	30.0	20	30.0	70.0	0.0	30.0
中分類	金属製品製造業	13	23.1	69.2	7.7	15.4	13	15.4	53.8	30.8	-15.4	13	15.4	84.6	0.0	15.4
	一般機械器具製造業	31	25.8	51.6	22.6	3.2	31	25.8	41.9	32.3	-6.5	31	25.8	64.5	9.7	16.1
	電気機械器具製造業	24	20.8	66.7	12.5	8.3	24	41.7	33.3	25.0	16.7	24	29.2	70.8	0.0	29.2
	輸送用機械器具製造業	17	29.4	58.8	11.8	17.6	17	47.1	41.2	11.8	35.3	17	23.5	76.5	0.0	23.5
	精密機械器具製造業	13	7.7	69.2	23.1	-15.4	13	7.7	30.8	61.5	-53.8	13	7.7	61.5	30.8	-23.1

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて15.4で、前回調査時の16.7から1.3ポイント悪化した。しかし、「前年同期」比は△15.4で、大幅悪化した前回(△66.7)から改善した。「3ヶ月後」の予想DIは15.4で前回の25.0より悪化しているが、「横這」で推移すると見る企業が84.6%となっている。海外生産の流れから、以前のように設備投資しての量産が難しく、コストダウン要請も続いている。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて3.2で、前回の△3.0からプラスに転じた。「前年同期」比も△6.5(前回△15.1)と改善した。「3ヶ月後」の予想DIは「好転」企業25.8%、「悪化」企業9.7%で16.1と前回の6.1から改善している。受注が大幅に増加して「こなしきれない」とする企業の一方で、「受注が低迷し、先行きの見通しが立たない」とする企業があり、格差が見られる。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「好転」企業が20.8%、「悪化」企業が12.5%の8.3と、前回調査時の△7.2から改善した。「前年同期」比でも「好転」企業が41.7%で、「悪化」企業の25.0%を上回り、前回の△14.3から16.7と改善している。また、「3ヶ月後」の予想DIも29.2で、「横這」企業が多いが、前回より改善している。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて17.6で、前回調査時の38.9から21.3ポイント悪化した。「好転」企業が29.4%で、「悪化」企業が11.8%となっている。「前年同期」比は35.3で、大幅改善した前回の11.1からさらに24.2ポイント改善している。「3ヶ月後」の予想DIも「悪化」予想の企業がなく、23.5となっている。消費税増税の駆け込み需要に備えた生産で受注を伸ばした企業もある。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて△15.4で、前回調査時の30.8から46.2ポイント悪化している。「前年同期」比も△53.8で前回の△23.1から悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは△23.1で、「悪化」企業が、「好転」企業を上回っている。リーマン・ショック以前の受注状況に戻った企業がある一方で、主要取引先からの受注が低迷が続いている企業もあり、取引先や製品によって受注状況に大きな格差がある。

②規模別業況

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて、「1～29人」規模が△5.9、「30～99人」規模が0.0、「100人以上」規模が15.0だった。「前年同期」比は「1～29人」規模が△14.8、「30～99人」規模が△12.5、「100人以上」規模が30.0だった。「3ヶ月後」の予想DIは、「1～29人」規模は△4.4、「30～99人」規模が22.5、「100人以上」規模は30.0となっている。小規模になるほど、業況に厳しさが見られる。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は「増加」企業 27.3%、「減少」企業 21.1%で同DIは 6.2 と、前回調査時の 8.3 から悪化している。「前年同期」比では前回の△17.4 から△3.1 と改善したが、「3ヶ月後」の受注予想DIは 8.6 で「増加」企業 22.7%、「減少」企業 14.1%と前回の 14.4 から悪化し、先行きの不透明感が出ている。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29 人企業」は 1.5 で、前回の 7.1 から悪化した。「30～99 人」企業は 10.0 で前回の 2.3 から改善傾向が続く。「100 人以上」は 15.0 で前回の 27.8 からは悪化した。また、「前年同期」比では「1～29 人」が△10.3 で、前回の△1.4 から悪化し、苦戦が続いている。一方、「30～99 人」は△5.0 と前回の△43.2 から改善した。「100 人以上」も 25.0 と前回の△16.6 から改善している。「3ヶ月後」の受注予想では「30～99 人」は 22.5、「100 人以上」が 25.0 となった。前回より悪化したものの、増加予想が上回っている。ただ、「1～29 人企業」は△4.4 で前回の 2.9 から悪化している。

業種別(主要 5 業種)では、「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「輸送用機械」が前回の 33.3 から 41.1 とさらに改善した。「一般機械」は 0.0 から 19.4、「電気機械」は△3.6 から 16.6 へ改善した。「金属製品」は 16.7 から 15.4 とやや悪化し、「精密機械」は 38.5 から△30.8 へ悪化した。

「前年同期」比のDIでは「輸送機械」が前回の 0.0 から 52.9 へ大幅改善し、「一般機械」が△12.2 から 0.0、「電気機械」は△14.3 から 20.8、「金属製品」は△66.7 から△7.7 と改善傾向を示している。「精密機械」は△15.4 から△53.8 へと悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは前回に比べて、「一般機械」が 12.1 から 19.3 と増加予想だが、「輸送機械」は 38.9 から 29.4、「電気機械」が 17.9 から 16.7、「金属製品」は 25.0 から 0.0、「精密機械」46.2 から 0.0 と、減少を予想する企業が増えている。

業種別・規模別受注状況表

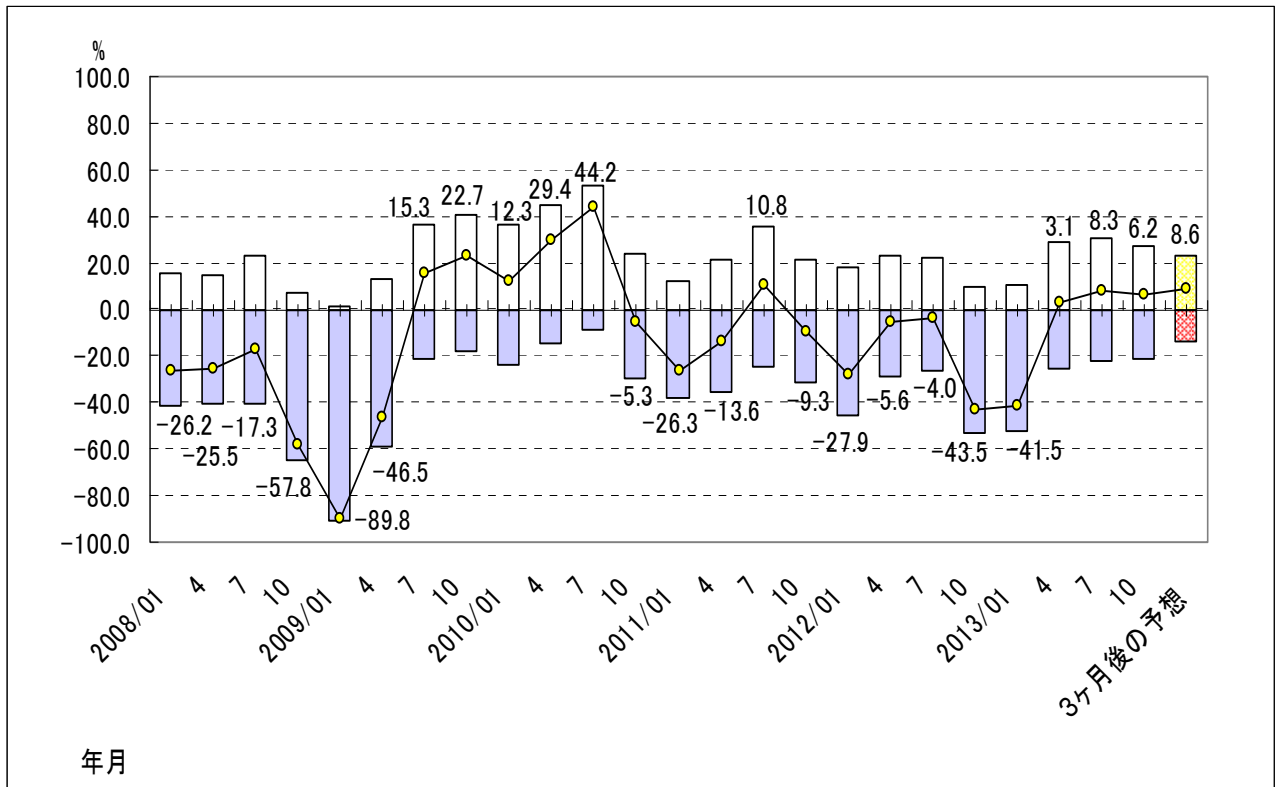
表－3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI
製造業		128	27.3	51.6	21.1	6.2	128	29.7	37.5	32.8	-3.1	128	22.7	63.3	14.1	8.6
規模	1～29人	68	26.5	48.5	25.0	1.5	68	27.9	33.8	38.2	-10.3	68	14.7	66.2	19.1	-4.4
	30～99人	40	30.0	50.0	20.0	10.0	40	25.0	45.0	30.0	-5.0	40	32.5	57.5	10.0	22.5
	100人～	20	25.0	65.0	10.0	15.0	20	45.0	35.0	20.0	25.0	20	30.0	65.0	5.0	25.0
中分類	金属製品 製造業	13	23.1	69.2	7.7	15.4	13	23.1	46.2	30.8	-7.7	13	15.4	69.2	15.4	0.0
	一般機械 器具製造業	31	35.5	48.4	16.1	19.4	31	32.3	35.5	32.3	0.0	31	29.0	61.3	9.7	19.3
	電気機械 器具製造業	24	33.3	50.0	16.7	16.6	24	45.8	29.2	25.0	20.8	24	25.0	66.7	8.3	16.7
	輸送用機械 器具製造業	17	52.9	35.3	11.8	41.1	17	64.7	23.5	11.8	52.9	17	35.3	58.8	5.9	29.4
	精密機械 器具製造業	13	7.7	53.8	38.5	-30.8	13	7.7	30.8	61.5	-53.8	13	23.1	53.8	23.1	0.0

製造業の受注状況DIの推移

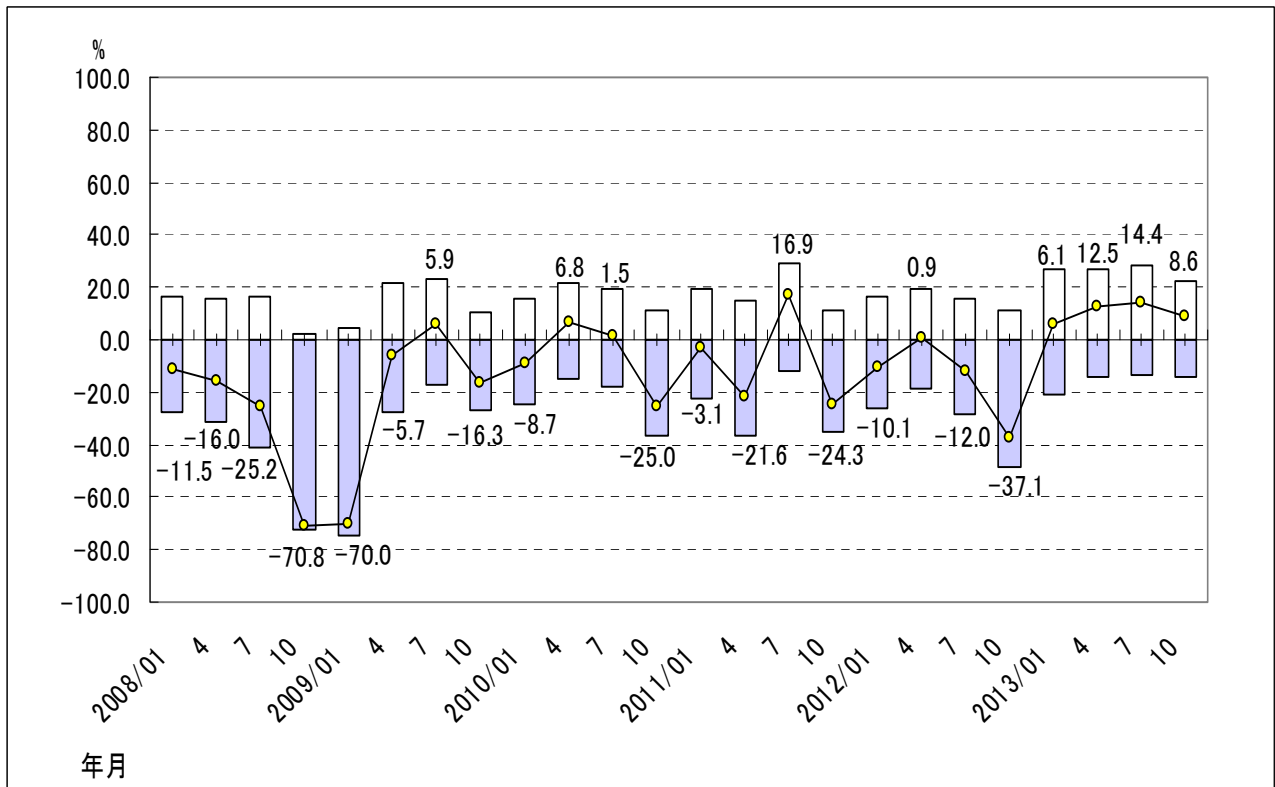
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



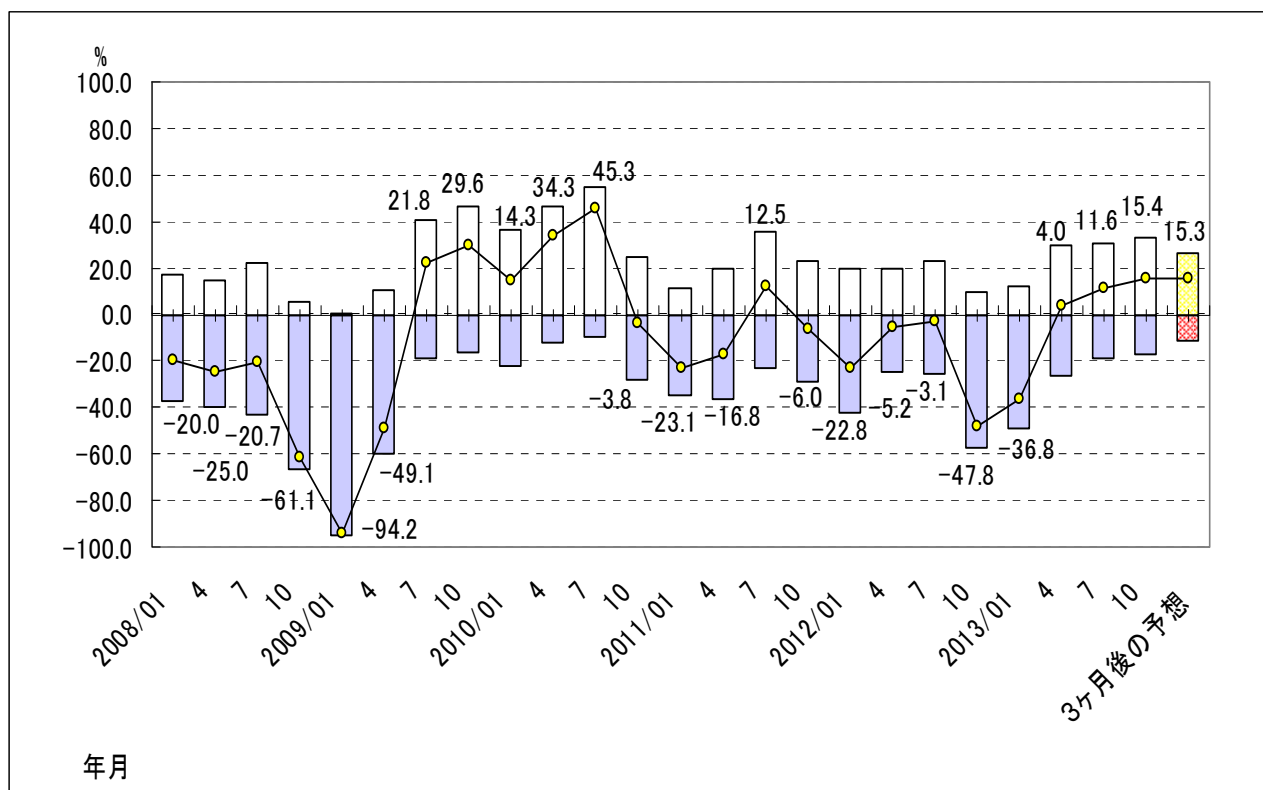
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



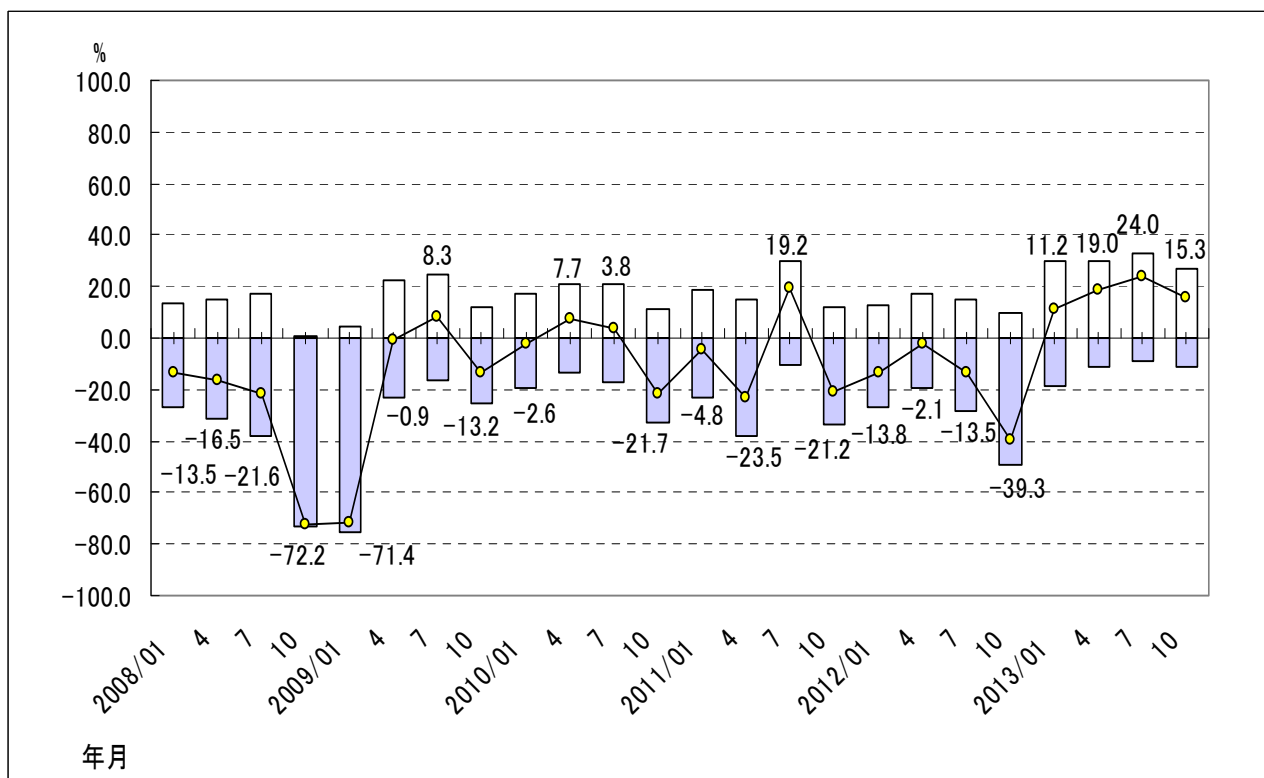
●製造業 主要 5 業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要 5 業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の10月の天候は、上旬は高温少雨、中旬は台風の影響などで多雨となった。「3ヶ月前」と比べ、業況判断DIは27.3と前回調査時の0.0から改善し、来店客数DIも18.2で前回の0.0から改善している。また、収益性DIは18.2で前回よりやや改善し、客単価DIも9.1で前回の8.4から改善している。「前年同期」比の業況判断DIは27.3で、前回の25.0から改善した。一人当たりの労働時間が増加している企業が多い。「3ヶ月後」の業況予想DIは「横這」企業が多く0.0だった。円安の影響は、「3ヶ月前」「前年同期」「3ヶ月後」ともに好影響と見る企業が少ない。

- 食料品 生鮮、青果関連は単価が上がって売り上げが伸び、飲料は暑さで10月も横ばいだった。
- 衣料品 例年冬物が売れる時期だが、気温が高かった10月は不振で、毎年好調な羽毛布団、毛布も振るわなかった。
- 自動車 長野県内の10月の新車新規登録・届出台数は、前年同月比で登録車が5,186台で2ヶ月連続、軽自動車は4,159台で4ヶ月連続増加した。
- 家電店 特別セール以外の販売は低調で、消費税増税に伴う駆け込み需要は先と見られる。
- ホームセンター 高温の前半は例年より土壌改良剤などの動きが続き、気温の低下で暖房用品が伸びた。

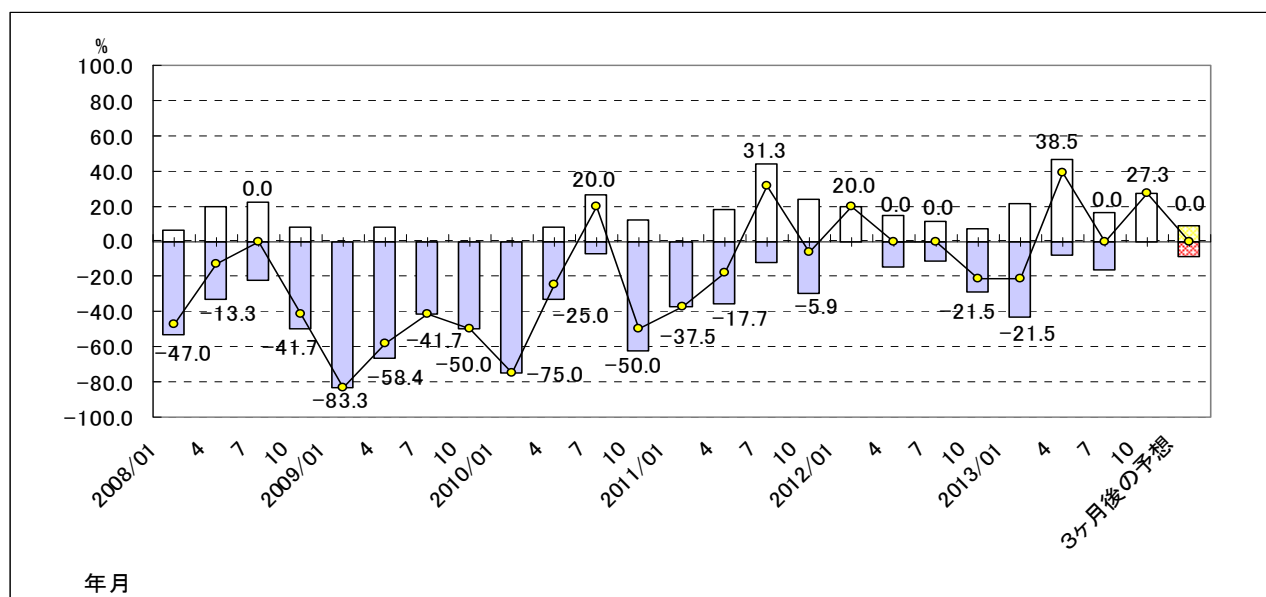
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	11	27.3	72.7	0.0	27.3	11	45.5	36.4	18.2	27.3	11	9.1	81.8	9.1	0.0
客単価	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	18.2	81.8	0.0	18.2
来店客数	11	18.2	81.8	0.0	18.2	11	27.3	54.5	18.2	9.1	11	27.3	54.5	18.2	9.1

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

業況判断DIは「3ヶ月前」比が△5.2で前回調査時より悪化したが、「前年同期」比では5.2で前回の△17.7から改善した。客単価DIも前回の△11.7から10.5、宿泊客数DIは前回の△23.5から0.0と改善している。秋の行楽客の宿泊が好調だった施設がある一方で、天候に左右された施設もあり、地域や営業力によって格差が出る傾向もある。富士見高原の施設は4月からの累計で売上、来場者とも増加した。冬季に入る「3ヶ月後」は業況予想DIが△31.6で前回の47.0より悪化し、宿泊客数も△26.3と前回の29.5から悪化した。

- 上諏訪温泉 悪天候による団体客の直前キャンセルなどが大きく影響し、宿泊客数は施設によって格差があった。年末の予約は例年並みだが、宿泊を伴わない宴会が増加傾向となっている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 紅葉が盛りになる時期に、2つの台風が週末に接近したことで宿泊のキャンセルがあり天候に恵まれなかった施設が多い。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約56千人と、前年同月比約2千人の減少(△3.4%)となった。

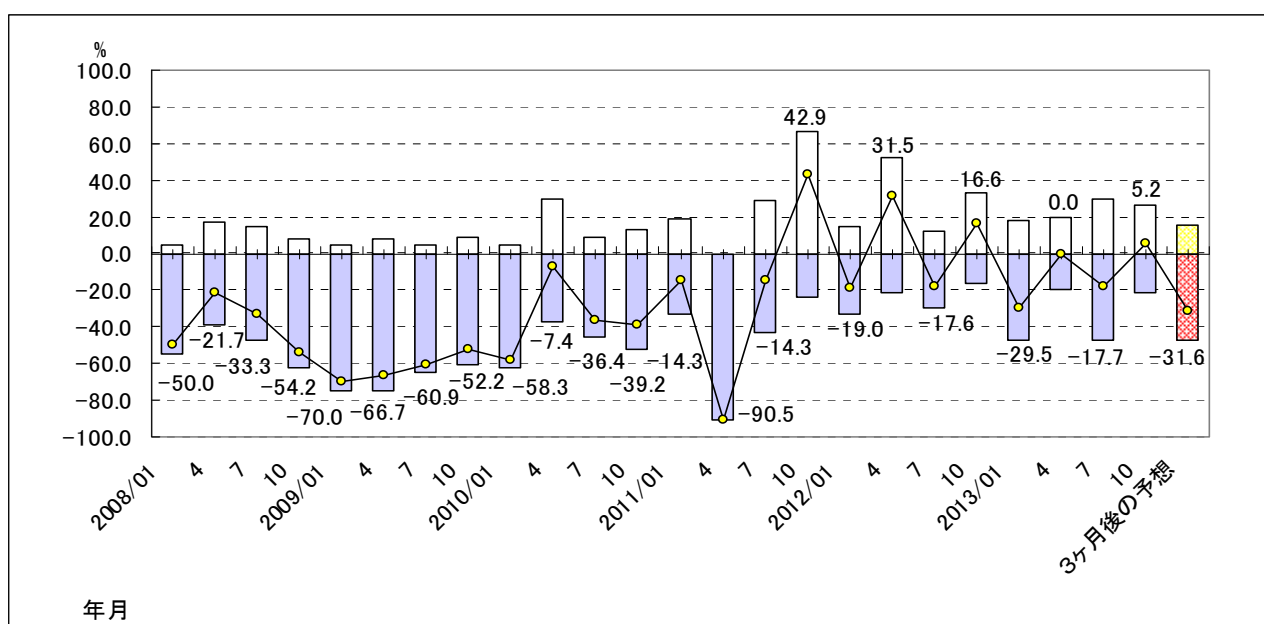
業況、売上、宿泊客

表－5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業 況	19	21.1	52.6	26.3	-5.2	19	26.3	52.6	21.1	5.2	19	15.8	36.8	47.4	-31.6
客単価	19	5.3	73.7	21.1	-15.8	19	15.8	78.9	5.3	10.5	19	15.8	52.6	31.6	-15.8
宿泊客数	19	31.6	36.8	31.6	0.0	19	31.6	36.8	31.6	0.0	19	26.3	21.1	52.6	-26.3

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフー9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」比で 33.3 と前回調査時の 10.0 から改善し、「前年同期」比も 33.4 と改善している。「3ヶ月後」の予想は 8.4 で前回の 20.0 から悪化した。受注状況予想DIも前回から悪化し 0.0 で先行きの見方が分かれる。収益性予想DIは「横這」と見る企業が 91.7%となっている。可能な契約者に来春施工を依頼するなど多くの企業が受注増の反面、資材と人手不足が顕著。来春の反動減への懸念もある。

●建築工事

諏訪地方の9月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市 11 戸、諏訪市 34 戸、茅野市 34 戸、諏訪郡 17 戸となった。平成 25 年 4 月～9 月の利用別前年同期累計比では貸家が 86.0%、分譲は 23.3%、持家は 19.4%伸びている。県全体の 9 月の新設住宅着工戸数は 973 戸で前年同月比 15.8%増加した。

●公共工事

10 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所 6 件 126 百万円、林道治山工事関係 2 件 27 百万円、長野国道事務所等国関係 1 件 80 百万円、その他土木工事 2 件 17 百万円、県警察 1 件 1 百万円だった。市町村は建築工事 3 件、8 百万円、土木及び下水道工事 86 件 556 百万円、その他工事 23 件 104 百万円だった。

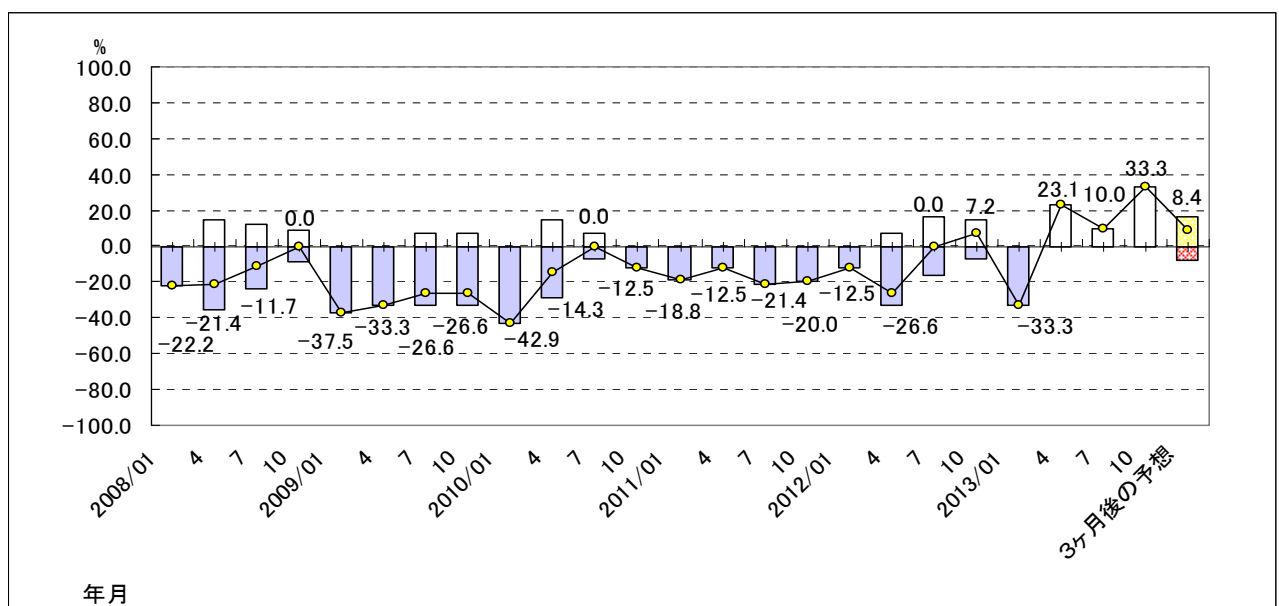
業況、受注状況、外注発注量

表－6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業 況	12	33.3	66.7	0.0	33.3	12	41.7	50.0	8.3	33.4	12	16.7	75.0	8.3	8.4
受注状況	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	16.7	66.7	16.7	0.0
外注発注量	12	41.7	58.3	0.0	41.7	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	8.3	91.7	0.0	8.3

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー10



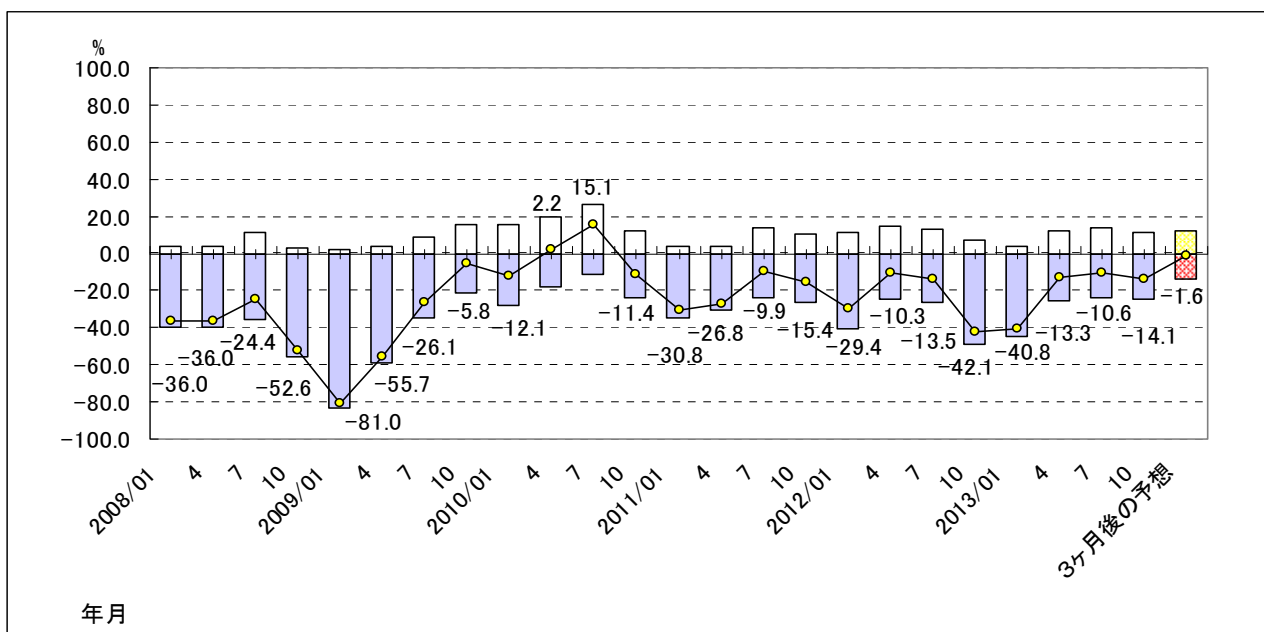
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 12.4%、「悪化」企業 21.8%で同DIは△9.4 と、「悪化」企業が上回り、前回調査時の△4.1 から悪化した。原材料高騰による収益圧迫の声は多い。「前年同期」比では△17.7 で、前回の△24.5から6.8ポイント改善した。製造業の「前年同期」比は△23.4で前回の△30.3から6.9ポイント改善し、非製造業の「前年同期」比も0.0で、前回の△5.1から改善している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△1.6で前回の△3.8から2.2ポイント改善し、非製造業は△7.1で前回の10.2より悪化した。回答全社では△3.0で前回の△0.6から悪化している。

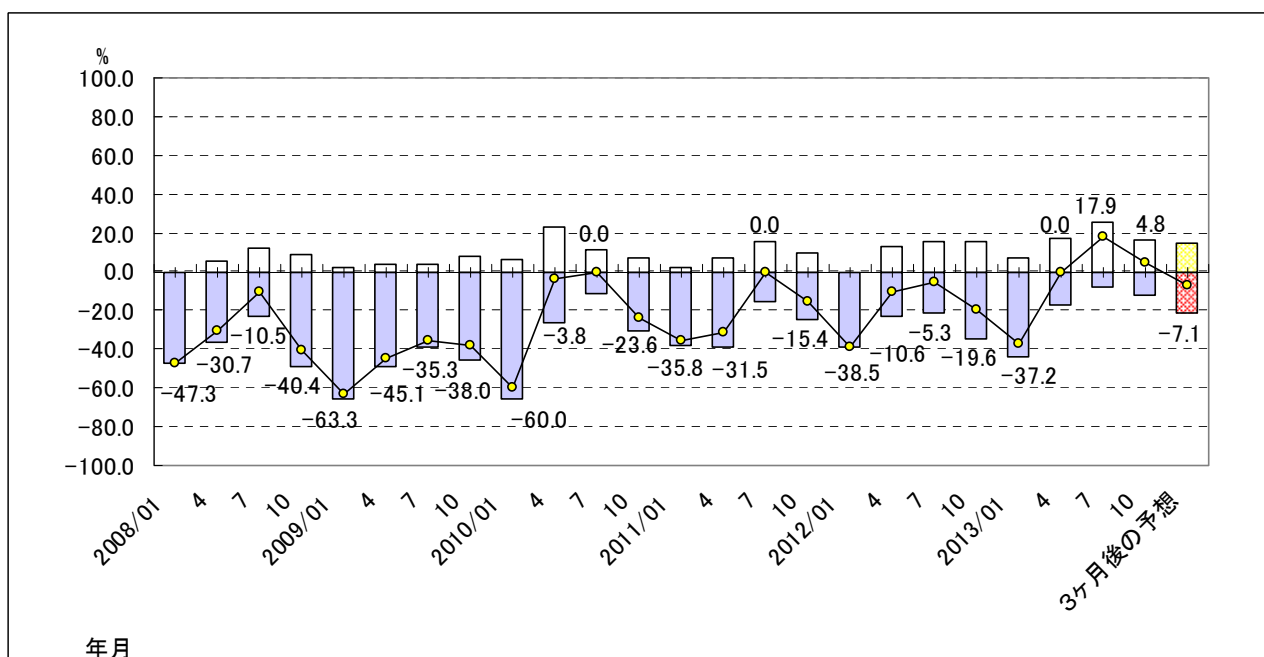
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、競争激化、単価引き下げをあげる企業が多く、②商業(大型店)は労働力確保、競争激化、人件費③建設業は労働力確保、競争激化④観光・サービス業は売上減少、資金繰りなどがあげられている。総じて労働力確保が課題となる企業が増えている。

経営上の課題	合 計	製 造 業	商 業	建 設 業	観光・サービス業
売 上 減 少	74	61	2	2	9
単 価 引 下 げ	32	27	0	1	4
競 争 激 化	48	38	3	4	3
資 金 繰 り	34	24	2	2	6
人 件 費	22	15	3	2	2
労 働 力 確 保	29	18	4	4	3

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実 数	前年同期比
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	0.93 倍	0.12 ポイント
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	6,404 枚	△2,221 枚
	金 額	10,301 百万円	△1,675 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	7 枚
		金 額	2,690 千円
電力使用量【10月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	38,388 MWh	1.4 %
	高压電力計	91,123 MWh	2.6 %
	合 計	129,511 MWh	2.2 %
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		1,023 件	5.6 %
新設住宅着工戸数【H25. 4～25. 9】(諏訪管内)		695 戸	33.1 %

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成 25 年 10 月末
- ②調査内容 「平成 25 年 10 月末」の実績と、「3 ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3 ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約 130 社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業 種 製造業、商業(大型店:売り場面積 501 m²以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 170 企業
- ⑦回答率 63.7%

	製造業	商 業	建 設 業	観光・サービス業	合 計
依 頼 数	200	20	20	27	267
回 答 数	128	11	12	19	170